

会議等

卸売商業部会議員・常任委員「名古屋」視察会 9/24-25

当所卸売商業部会(部会長＝忍田勉・㈱カンサイ代表取締役会長)は、「名古屋商工会議所 機器・素材流通部会との意見交換会」を開催。当所卸売商業部会からは忍田部会長ら5名、名古屋商工会議所 機器・素材流通部会(部会長＝富田英之・東朋テクノロジー㈱代表取締役社長)からは相羽副部会長ら7名が出席。「各会議所・部会の活動」や「業界動向」についてそれぞれの地域性を例に挙げながら意見交換を行った。名古屋商工会議所が実施する異業種交流展示会、メディカルメッセやアライアンスパートナー発掘市といった販路拡大事業について積極的な意見が交わされた。



▲両会議所とも積極的な意見交換を行った

福岡商工会議所支店長会 第22回定時総会 10/5

支店長会“ブランチ・コミュニケ”(会長＝草田哲也・アサヒビール㈱福岡統括支社 理事福岡統括支社長)は、ホテル日航福岡で第22回定時総会を開催。36名が参加した。総会では、平成28年度事業報告並びに収支決算、平成29年度事業計画並びに予算(案)、役員改選について審議し、原案通り承認された。終了後には懇親会を開催し、会員相互の近況報告や交流懇親を深めた。



第49回全国商工会議所女性会連合会 北海道全国大会 10/7

福岡商工会議所女性会(会長＝西川ともゑ副会長)は、札幌市で開催された「第49回全国商工会議所女性会連合会北海道全国大会」に参加。当所女性会から17名、全国各地から318女性会2,702名が参加した。全国大会では“第16回女性起業家大賞”の授賞式が行われ、会員の株式会社デキャンタージュ 代表取締役 小林由紀氏が、スタートアップ部門 優秀賞の表彰を受けられた。



▲授賞式にて表彰を受ける小林氏

福岡商工会議所女性会 平成29年度臨時総会 10/18

福岡商工会議所女性会は、臨時総会を開催した。任期満了に伴う役員選挙を実施。事前の書面投票で選出された副会長と理事を選任した。次期副会長に選出されたのは次の4名。安東友子氏(㈱アントレ 代表取締役社長)、伊藤敦子氏(㈱ドナ コーポレーション 取締役会長)、児嶋美希子氏(寿司・割烹 たつき 代表)、西川ともゑ氏(㈱大阪屋 取締役会長)。任期は今年11月1日から平成32年10月31日。なお次期会長には、5月の定時総会で、森純子氏(㈱如水庵 取締役副社長)が決定している。



▲会長として最後のご挨拶をされる西川会長

III. 信頼される福岡商工会議所(基盤の強化)

福岡市政に対する提言 10/3

当所は、「福岡市政に対する提言」を福岡市と福岡市議会に提出した。磯山会頭は「福岡の発展のためには、中小企業・小規模事業者の稼ぐ力の底上げが不可欠である。福岡市とともに、市の発展に向けて取り組んでいきたい」と、会員企業や商店街等からの意見を踏まえて取りまとめた本提言の実現を求めた。それに対し、貞川副市長(高島市長は公務のため欠席)は「特区について言及していただくなど、貴重な意見をいただき大変ありがたい。福岡市も提言内容の実現に向け取り組んでいきたい」、川上議長は「提言内容を活かし、中小企業支援のため民間と行政が連携していきたい」と応じた。本提言は、『福岡の強みを生かした経済・産業振興』『アジアの拠点都市に相応しい都市機能整備』『地域を支える商工業者の持続・成長に向けた支援』の3つの柱からなる全35項目。



▲貞川副市長に要望書を提出する磯山会頭



▲川上議長に要望書を提出する磯山会頭

主な提言項目

- | | |
|---|--|
| <p>I 福岡の強みを生かした経済・産業振興</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 食・ファッション関連産業の振興やクリエイティブ関連産業の集積を通じた産業振興 2. 国際ビジネス促進による経済振興 3. 「インバウンド」と「国内観光」の両輪による観光振興 4. 大規模スポーツ大会等の誘致・開催 5. 本社機能・政府機関などの誘致 <p>II アジアの拠点都市に相応しい都市機能整備</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 将来を見据えた都市基盤整備 2. 安全・安心な街づくりの推進 | <p>III 地域を支える商工業者の持続・成長に向けた支援</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 中小企業・小規模事業者支援策の拡充・連携強化 2. 企業のライフサイクルに対応したきめ細かい支援策の拡充 3. 人材確保への支援強化と多様な人材活用の推進 4. 地域商業、商店街の支援 5. 公共事業をはじめ地場企業の受注機会の拡大 |
|---|--|

福岡県商工会議所連合会 第129回通常会員総会 10/5

福岡県商工会議所連合会(会長＝磯山会頭)は、八女市で第129回通常会員総会を開催。県内19商工会議所の会頭、副会頭、専務理事ら43名が出席した。総会で挨拶に立った磯山会長は「今年7月に起きた『九州北部豪雨』災害から3か月が経過したが、時間の経過と共に課題が見えてきた。商工会議所の強力なネットワークを活かし、あらゆる機会を通じて被災した地域の復旧復興に努めたい」と話した。その後、朝倉商工会議所の大隈晴明会頭(㈱オークマ 代表取締役社長)より「平成29年7月九州北部豪雨」に関する被災及び復旧・復興状況報告が行われた。続いて、豪雨災害からの復旧復興に向けた支援策や、中小企業に向けた経済政策を盛り込んだ県への提言要望案などを審議し、原案通り承認された。総会終了後には、八女市の老舗酒蔵の㈱喜多屋と、㈱高橋商店「しげます」を視察した。視察後の懇親会では小川県知事や八女市の鎌田副市長らを来賓に迎え、活発な意見交換を行い、交流を深めた。



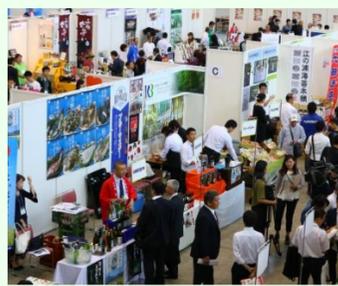
I. アジアの拠点都市を目指し福岡の活力を高める

Food EXPO Kyusyu2017 10/4-9

Food EXPO Kyusyu実行委員会(当所、福岡県、福岡市、福岡県商工会連合会、ジェトロ福岡、福岡地域戦略推進協議会)は、「Food EXPO Kyusyu2017」を開催。世界的にも優れた九州の食を世界に発信し、地場食品関連企業の更なる売上げ向上、販路拡大及び地域経済の振興を目的とし、今回で4回目となる。10月4～5日の2日間は、福岡国際センターにてBtoB事業である「国内外食品商談会」を開催。178社・団体が出展した。会場では、展示商談会や個別商談会を実施し、2日間で4,057名が来場した。また6日には、バイヤーが九州各地の生産現場や工場等を訪問する訪問商談会を実施した。10月6日～9日の4日間は、天神中央公園にてBtoC事業である「九州うまいもの大食堂」を開催。九州・沖縄各地から選りすぐりの95社・団体が出店した。今回も昨年を引き続き、出店者同士が自社商品をコラボレーションさせて販売する企画を一部店舗で実施。また、朝倉・日田復興支援ブースを設置し、被災地の食材の販売や観光PRを行った。4日間で昨年を上回る約145,000人が来場し、大盛況であった。



▲開会セレモニーの様子。磯山会頭(中央)と前川副会頭(左から1番目)



▲国内外食品商談会

II. 地域を支える商工業者の持続・成長に向けた取り組み

ツーリズムEXPOジャパン 9/21-24

当所は、福岡プロモーション協議会の一員として、福岡県、福岡県観光連盟と共同で「ツーリズムEXPOジャパン2017」に出展した。期間中は「福岡県」ブースを設け、福岡県内の観光スポット等のPRを行った。また、地元企業5社と国内商談会に参加し、商談を支援すると共に、当所単独でも「博多伝統芸能館」や「博多どんたく」のPRを行った。



▲会場では熱のこもった商談が行われた

第2回福岡起業塾 10/14-22

当所は「第2回福岡起業塾」(共催:日本政策金融公庫福岡支店、福岡西支店、福岡創業支援センター、福岡県信用保証協会、福岡市)を開催し、1年以内の起業を目指す23名が参加した。4日間にわたり、経営や財務、人材育成など創業に必要な知識や事業計画の組み立て方について講義を行った。10月28日には資金繰りのサポートとして金融機関による相談会も実施する。講座終了後も着実に創業に繋がるよう指導員と連携してフォローアップする。



▲具体的な起業計画を持つ受講者が熱心に受講した